

# 部 会 議 事 録

(まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和5年度 第9回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2023年(令和5年)12月21日(木) 午後6時30分から午後8時50分まで
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	出席者 15人(総数21人) 畠山会長、甘粕副会長、三觜副会長、澁谷副会長、徳江委員、飯森委員、吉見委員、藤原委員、小原委員、甘粕委員、阪井委員、岡田委員、桐生委員、近藤委員、保川委員 市民自治推進課 日原参事、森主幹、野田課長補佐 事務局 幸田センター長、森井主幹、関口、下間、笠原、國松、吉岡
都市マスタープランの改定に伴う意見交換(別紙資料)	<p>[市民自治推進課] 片瀬山市民の家再整備について、「片瀬山市民の家再整備ニュース」を基に、現在の進捗状況を含め説明し、意見交換を行った。 重点事項3点①車で来ることができる、②片瀬地区の防災力の強化、③個人でも利用しやすく</p> <p>[1] ニュースについて、昨年9月の第1号から今回の第2号まで時間が開いている。来月1月に、説明会が行われることから、もっと早い段階で情報提供していただければ内容について住民間で検討できた。</p> <p>[市民自治推進課] 片瀬山地区の皆さんに対し、中途半端な情報提供とならないよう、計画を練り、正確な情報をお伝えしたいため、このタイミングでのニュース発行となった。</p> <p>[2] 他の市民の家とは異なり、車でも利用することができる点などは理解できるが、市民の家を運営する運営委員会に対し、これ以上の負担がかからないよう検討してもらいたい。</p> <p>[市民自治推進課] これまでは、主に建物などのハード面の検討を行ってきた。今後は、他の市民の家で実際に駐車場がある施設の運用状況を参考にしながら、どのようにすれば片瀬山市民の家の運営が円滑にできるかを検討していきたい。施設予約はアナログだが、今後、全て電子で予約できるよう、負担軽減の検討を進めている。</p> <p>[3] 新しい片瀬山市民の家完成後、自動的に現在の運営委員会が新施設の運営するのではなく、内容について運営委員会の中で検討し了承が得られれば受けていきたいと考えている。</p> <p>[市民自治推進課] 市民の家の運営については、これまでどお</p>

都市マスタープランの改定に伴う意見交換(別紙資料)

り、運営委員会と検討していきたい。

[4] 資料を見ると市有地の半分程度しか敷地がなく、狭い範囲の整備となっている。片瀬山だけの施設ではなく、片瀬地区全体のコミュニティ施設として、これまで防災や子どもたちが自由に利用できる施設などの観点も含め、検討してきたと認識している。地域としては、2階建ての施設となり、1階は、子ども達が靴を履いたまま自由に出入りできる空間で、2階が市民の家のスペースとなることを提言したが、1階建てとなっている。また、整備後の空地となる市有地の活用はどのようなことを検討しているのか。

[市民自治推進課] 現在の計画では、敷地の約6割を使用することを検討している。提言では、建物2階建てで、地下に防災備蓄倉庫を設置することだったが、市としては公共施設再整備の方針や防災計画などとの整合を図る必要があり、提言のすべてを実現することはできないため、再整備調整会議を開催して提言書を基に調整してきた。その結果、今回のニュースでお示した規模となっている。片瀬山市民の家は、市内にある市民の家で最大の規模となっており、平屋にすることで、バリアフリーへの配慮ができる。

また、土足での運用は、利用後の清掃など、運営委員会の負担増となることから、下駄箱に入れていただく運用としたい。

[5] 新しく整備する片瀬山市民の家は、片瀬地区全体の施設として、片瀬山市民の家の運営委員だけでなく、地域全体がコミュニティ施設として総合的に運営にかかわっていく必要がある。残った土地の有効活用はどのように考えているのか。

[市民自治推進課] 残地については、市の中でも活用方法について検討している。

[6] 会議室が仕切り式になって大きくなるのは良いが、土日に自治会の会議となると同じタイミングで複数回行われることがあり、会議室ができる部屋が少ないと感じる。また、災害時の活用について、配慮を要する人のためということであれば、単独の会議室がもう一つ欲しいと感じた。

[市民自治推進課] 部屋数について、検討を行ってきたが、これまでの利用実績では、小さい部屋の利用率は高くないため、部屋を大きくして、部屋数はこれまでと同数とした。非常時の防災機能を優先することで市民の家として使いづらい施設になる可能性があることから汎用性を重視した。

[7] 当初、検討していた規模の1/3の規模となっているが、これ以上小さくなることはあるのか。また、片瀬地区全体として検討した要望が取り入れられていないことから、要望を満たすように計画を進めてもらいたい。

[市民自治推進課] これ以上規模が小さくならないようにしていきたい。

[8] 今後のスケジュールについて伺いたい。

	<p>[市民自治推進課] 次月の説明会終了後、市の公共施設再整備プランでは、現在、検討事業位置づけとなっているが、実施事業に格上げするよう、庁内で取り組んでいきたい。令和7年度に工事業者の選定を行い、工事着手、令和8年度中に完了、供用開始の予定となっている。</p>
報 告	<p>3 報告（資料1）</p> <p>(1) 前回全体会の報告 議事録の確認</p> <p>(2) 各部会からの報告 配布資料のとおり。</p> <p>[青少年育成部会] 1月23日、青少年健全育成部会と公民館が協力し、子ども対象の防災教室を実施した。</p> <p>(3) 各地域団体からの報告</p> <p>ア 生活環境協議会 1月14日（日）第3回環境映画上映会と講演会を開催するので、ぜひ参加してもらいたい。子どもに参加してもらいたいことから、片瀬小学校の5、6年生、片瀬中学校の全校生徒にちらしを配布した。</p> <p>イ 青少年育成協力会 2月3日に片瀬中学校でドッジボール大会を片瀬地区在住の小学生を対象に実施することを周知。今後、子どもを対象とした事業等、スポーツの会とも連携し、横断的な事業展開が必要と感じている。</p>
議 題	<p>5. 議題</p> <p>(1) 部会・事業等の総括について（資料2） J J B Cとボランティアセンターの現状と課題について</p> <p>(2) 地区集会について 「地区集会に向けた方向性」（資料3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートから考える方向性を念頭に置き、意見交換で聞くことを考える。</li> <li>・「自治会長のつどい」資料、町内会の好事例から地域活動を考える。“Brillia City 横浜磯子自治会”資料と映像を参考に。</li> </ul> <p>a アンケートについて(資料4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検証に係る項目や内容の確認</li> </ul> <p>b 企画について(資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施要領(案)、企画(案)、スケジュール等の確認</li> <li>・定員数、座席等の確認</li> <li>・意見交換の流れ</li> </ul>
	<p>(1) 部会・事業等の総括について [事務局] 部会の2年間の活動や取組み、課題等について総括を依頼。あ</p>

議題での検討事項・意見

わせて、地区集会での発表やまちづくり協議会としての活動報告書、まちづくり通信などの資料の検討・作成をお願いしたい。1月の全体会では途中経過、2月の全体会で完成に近い状況、3月の全体会で完成し、次年度への課題として残していきたい。

[1] 緑と花いっぱい推進活動は掲載するのか。

[事務局] 市のまちづくり事業として事業を掲載しており、市予算から消耗品などを購入しているので、事業として委員に認識していただきたく掲載している。

[2] 事業の主体は弁天橋花いっぱい愛好会である。以前、まちづくり通信で記事を掲載したところ、団体側から指摘を受けた経過があり、慎重に取り扱わなければならない。

[3] 花植えなどに片子連が団体として参加している。具体的な運営は団体が決めており、団体の活動に協力している状況である。団体としても、きちんと組織されており、まちづくり協議会としては団体の活動に対して口出しができない。市の予算で支援していることは承知しているが、今回の資料に掲載するものではないと感じている。

[事務局] ぐらし・まちづくり会議の頃から活動を行っており、まちづくり協議会の方も関わり、現在まで事業が続いている認識であることから、記載方法を工夫し、掲載していきたい。

ア 人材・情報バンクセンター運営委員会の現状と課題

[1] 当日配布資料を基に、人材・情報バンクセンターの現状について説明。東京2020オリンピックに向け、ボランティアに対する関心が高まったが、コロナ禍を受け、活動が停滞したことと、ボランティアをしたいと考えている人と、人材・情報バンクセンターの活動が違う方向に進んでいる。ふれあいまつりの運営ボランティアも募集の結果、数人集まったことから、需要がなくなったわけではないが、今後、窓口を閉鎖していきたい。運営委員会として、今後のボランティア情報の発信についてワーキング形式などで検討していきたい。運営委員会などでスケジュールを確認し周知していきたい。

[事務局] 周知の方法やタイミングは、改めて精査していきたい。

[2] これまでのまちづくり協議会の事業は、地域課題が解決されたことを受け、終了しているが、人材・情報バンクセンター事業は、今までと異なり、地域課題が残ったままでの閉鎖となることから、慎重に検討し、より良い形になるようにしていきたい。

イ ボランティアセンターの現状と課題について

現在、まちづくり協議会で実施しているボランティアセンターの片瀬地区社会福祉協議会への移行について説明。福祉ボランティアしおさいが片瀬地区社会福祉協議会の中に入ったことを受け、高齢者の生活支援を片瀬地区社協行うようになった

<p>議題での検討事項・意見</p>	<p>が、事務所の賃借料を継続して支払っている状況が課題となっている。また、片瀬地区内にはさまざまなボランティア組織があり、それぞれ別々に活動していたが、地域住民からわかりづらい状況となっていることから集約していきたい。あわせて、市の補助金を受けるにあたり、複数の団体が同じ施設で活動を行うことはできないため、片瀬地区社協に集約していきたい。ただし、これまでの活動を見直しすることではなく、引き続き、現在の活動は継続する方針。</p> <p>[1] ボランティアセンターと人材・情報バンクセンターの事業は、これまでの経緯はわかるが複雑なものとなっている。人材・情報バンクセンターをボランティアセンターの中に入れてほしいのでは。</p> <p>[2] ご指摘のとおり、片瀬地区のボランティア組織は複雑になっている。しかし、それぞれの機能をそのまま移行することは難しい。人材・情報バンクセンター運営委員会では、個人情報を取扱う現在の様なコーディネートをする人材を置かず、地域の情報が発信できるよう、検討していきたい。</p> <p>[3] 元々、片瀬地区はボランティア活動が活発であり、福祉ボランティアしおさいは、ボランティアセンターができる前から存在していた。人材・情報バンクセンターについても、設置から10年以上経過する中で、一定の見直しを必要とする時期となっている。このことから、片瀬地区の住民に分かりやすい体制を、片瀬地区社会福祉協議会の中でどこまでできるかわからないが動いていきたい。</p> <p>人材情報バンクセンターの閉鎖及びボランティアセンターをまちづくり協議会の事業から片瀬地区社会福祉協議会へ移行させることについて了承を得た。</p> <p>また、事務局から、まちかど相談事業についても同様に、ボランティアセンター運営委員会から、片瀬地区社会福祉協議会へ移行されることから、令和6年度のまちづくり協議会の事業として、4事業に減ることを補足説明した。</p>
<p>議題での検討事項・意見</p>	<p>(1) 地区集会について</p> <p>ア 地区集会に向けた方向性について[事務局]</p> <p>検討の前に、横浜市磯子区のマンション自治会の活動を好事例として紹介。マンション自治会ではあるが、高齢化や役員の担い手不足などの課題は片瀬地区が抱える課題と共通している。子ども達を巻き込んだ自治町内会活動が有効であり、地域への興味や愛着など、お金ではない報酬として共有していることを説明。</p> <p>また、先日、実施したアンケートの結果から見えてくる地域住民の地域との関わり方について、1 新たな担い手の獲得、2 地域活動のスリム化、3 効果的な情報提供の3点を地区集会で</p>

の意見交換のテーマ(案)として設定することについて提案した。

[1] 自治町内会によっては、コロナ以降、活動を何もしていない地区もあることから、自治町内会に見てもらった方が良い。

[事務局] 先日開催された自治町内会連絡協議会の定例会で動画を上映した。

#### イ アンケートについて

事務局から、問7、8、9について、クロス集計を行った結果、見えてきた特徴を説明。

問7では、若い世代の方は、仕事が忙しく会議に出られないと回答している人が多いが、60代以上になると、年齢や健康に不安があり、地域活動に関わりたと思わない。という傾向。いずれも、無理のない範囲での活動を望んでいるのではないか。

問8では、地域美化清掃活動、祭りや歴史文化の継承を支援する活動に参加したいという意見が多く、イベントや単発的な活動に参加したいと思う人が多い傾向となった。

問9では、土日の活動やイベントの手伝いなど、メールやラインなどでの連絡を希望する方が多く、積極的に集まったりしたくない方が多い傾向となった。

補足となるが、問10で、町内会に関する情報が少ないという意見もあった。

アンケートの詳細は、今後、分析を行い、お示ししていきたい。

#### ウ 企画について

事務局から、実施要領(案)、企画(案)、スケジュール等について説明。今回は、1テーブル10人程度とし、5グループを作る予定とし、50人規模としていきたいことを説明。

[1] 前回の地区集会は席も近かったこともあり、グループ内の話が聞き取りづらかったことから、別の部屋を活用したほうが良い。

[2] 活動報告では、机を並べず椅子のみとし、グループトークになった時に机を設置しても良いのでは。

[事務局] グループトークを別室に分けるのであれば、活動報告は椅子のみとし、グループトークの時にレイアウト変更することも可能。全館貸し切りになっているので、柔軟な配置が可能である。また、様々な方に参加してもらいたいので、チラシが出る前でも構わないので、事前に委員から声掛けをお願いしたい。

[3] すでに数人に声をかけて3人出席の了解を得ている。

[4] 青少協、片子連にも声掛けをしていきたい。お祭り関係は片子連の方を通じて声掛けができればと考えている。

[5] スポーツの会の方で祭典委員になっている人がいるので声をかけてみたい。

[6] 片瀬地区以外に住んでいる人に声をかけても良いのか。

	<p>[7] できれば、片瀬地区内に住んでいる方に声をかけてほしい。</p> <p>[事務局] 1月の役員会の時に事前に確認できた人を共有したいので情報提供をお願いしたい。また、グループトークの委員資料について、次回の全体会までに委員皆さんでどのように進めていくかを、予め検討をお願いしたい</p>
6 その他	<p>6 その他</p> <p>(1) 令和6年度委員の公募について 事務局から、次年度のまちづくり委員公募についての進捗状況について報告。</p> <p>(2) 都市マスタープランの回答について 事務局から、先月全体会で意見交換が行われた内容についての回答が都市計画課から送付されたので資料配布していることを報告。</p> <p>(3) ふれあいまつりの模擬店出店について 事務局から、ふれあいまつりででの売り上げについて、片瀬学園、まりあ食堂、子供らんど、民生委員児童委員協議会にそれぞれ寄付を行った。また、端数は、ふれあいまつり実行委員会に寄付を行った。なお、食材を提供いただいた鶴生園に対しては、食材提供についてお礼をお伝えしたことを報告した。</p>
次回までの 確認事項	<p>地区集会の企画（案）の検討、アンケートの検証など</p>
次回会議 開催日時・場所	<p>全体会 日時 2024年（令和6年）1月25日（木） 午後3時30分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>